

令和 7 年 9 月

小林市議会定例会提出議案説明書

提案理由をご説明する前に、
8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害によりお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、
被災された方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

本市におきましては、
停滞する前線の影響を受け、
去る8月7日の夕方から8日の早朝にかけて、
断続的な大雨に見舞われたことから、
情報連絡本部の設置や市内6か所の避難所を開設するなど、
その警戒に当たったところでありますが、
市内では、道路への落石や店舗への浸水被害が発生したところであります。

また、霧島連山の火山活動につきましては、

新燃岳の噴火が断続的に続いており、
去る８月１０日には、市内の一部において
多量の降灰が確認されたことから、
市の公式ＬＩＮＥ等を通じて
市民の皆さまへの注意喚起を行うとともに、
路面清掃車や散水車を活用し、灰の除去など
の対応を行ったところであります。

これから、台風の接近も増えてくる時期と
なっておりまいますが、
風水害、火山の噴火、地震など、想定される
あらゆる災害に迅速に対応できるよう、
引き続き地域防災計画を基本として、
危機管理体制の更なる充実を図ってまいり
ます。

それでは、現在の市政運営に係る主な
取り組み等について、ご報告をさせていただ

きます。

まず、国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の推進についてであります。

開催まで残すところ約２年となり、
７つの競技が実施される本市におきましては、
小林市実行委員会を中心に、
準備を更に加速させているところであります。

大会に向けた取り組みといたしましては、
ネックストラップ、ポロシャツなど本市の
オリジナルグッズを製作するとともに、
「広報こばやし」の連載コーナーや
小林市実行委員会の公式ＳＮＳなどを通して、
大会に関する情報を広く発信しているところ
であります。

また、小林秀峰高等学校では
「ローイング愛好会」が発足するとともに、
須木中学校では
「国スポ・障スポ」を学ぶ出前授業や
ローイング競技の体験会を実施するなど、
市内における機運醸成や地域活性化に
つなげるための取り組みが進んでいるところ
であります。

なお、8月に開催されたインターハイの
ウエイトリフティング競技・女子45キロ級
において、
小林高等学校の川崎 琉愛選手が完全優勝を
果たしたところであり、
この度の快挙は、国民スポーツ大会で
同競技が実施される本市といたしましては、
大会の成功に向けて大きな弾みになるものと
考えているところであります。

今後も引き続き、本市で実施される競技の円滑な運営と大会の成功に向けて、市民総参加型による「オール小林」での大会を目指し、取り組んでまいります。

次に、シティプロモーションの取り組みについてであります。

現在、「ハッシンコバヤシ！！」と銘打ったプロモーション活動の一環といたしまして、宮崎観光ホテルにおいて、

「こばやしフェア」を開催しているところがありますが、

去る8月2日の「真夏の激アツこばやしまルシェ」におきましては、昨年度と同様、多くのお客様に御来場いただき、盛り上がりを見せたところであります。

また、８月７日から、市の公式ＳＮＳ
において、

「こばやしスペシャルＰＲ大使」である
吉野 北人様が出演する本市のＰＲ動画の
第３弾を順次公開しているところであります。

既に多くの方々に閲覧いただいている
ところであり、
今後、都市圏を中心とした動画のポップ
アップショップの出店や、
市内のロケ地巡礼キャンペーンなど、
動画に関連したイベントを展開する予定で
あり、その相乗効果を期待しているところで
あります。

今後も更なる本市のファン獲得や関係人口
の増加に向けて、引き続き県内外で取り組み

を推進してまいります。

次に、教育の振興についてであります。

去る８月２０日に、本市における新たな教育支援の拠点として、

T E N A M Uビル公共スペース内に

「豊かな学び支援室」を開所したところがあります。

この支援室では、学校に通うことが難しい状況にある児童生徒への個別支援の充実をはじめ、

地域と学校の連携・協働による教育活動の推進、

更には教職員の学びの機会の提供など、複数の機能を集約し、一体的に運用することで、教育課題の包括的な解決を図ることと

しております。

次に、姉妹都市との交流についてであります。

去る 8 月 1 7 日から 1 9 日にかけて、姉妹都市交流事業として、石川県能登町の中学生 1 6 名が本市へ来訪いたしました。

旧野尻町時代から数えて
今回で 2 7 回目となった交流事業では、
岩戸神楽の鑑賞や、
霧島ジオパークのガイドツアー、
観光農園でのぶどう・梨狩り体験、
農家民泊などを通して、
能登町の中学生が市内の中学生と笑顔で
交流を深めたところであり、本市での滞在を
楽しんでいたところであります。

今後とも、本事業などを通して、
姉妹都市である能登町との交流を深めて
いくとともに、
引き続き、災害からの復旧・復興に向けた
支援を続けてまいります。

それでは、以下、議案について、ご説明を
申し上げます。

報告第7号専決処分した事件の報告につき
ましては、
市内店舗の駐車場において市有車両が
一般車両に接触して発生した事故について、
令和7年8月8日付けで専決処分いたし
ましたので、
議会に報告するものであります。

議案第 5 0 号から議案第 5 9 号まで、
以上 1 0 件につきましては、
令和 6 年度小林市一般会計、特別会計及び
公営企業会計の決算について、
議会の認定に付するものであります。

令和 6 年度各会計の決算につきましては、
病院事業会計を除き、黒字又は収支均衡での
決算となりました。

以下、主なものにつきまして、概要を
申し上げます。

議案第 5 0 号令和 6 年度小林市一般会計
歳入歳出決算の認定につきましては、
歳入総額 3 2 0 億 8 , 2 3 3 万 6 , 7 8 7 円、
歳出総額 3 0 8 億 6 , 9 8 8 万 9 , 6 7 1 円
となりました。

歳入歳出差引額は
12億1,244万7,116円で、
翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた
実質収支額は
5億2,616万1,251円となりました。

前年度と比較いたしますと、
歳入歳出差引額は約5億7,700万円の増
となり、
翌年度へ繰り越すべき財源が
約3億1,500万円の増となりましたので、
実質収支額は
約2億6,200万円の増となったところで
あります。

歳出の主なものとしては、
ハード事業として、

健幸のまちづくり拠点施設整備事業費

約 10 億円、

社会資本整備総合交付金事業費

約 7 億円を支出し、

ソフト事業として、

物価高騰対策に係る事業費に

約 9 億円を支出するなど、

「第 2 次小林市総合計画」の将来都市像の実現に向けた各種施策を推進してまいりました。

歳入につきましては、前年度と比較いたしますと、

地方特例交付金が 約 1 億 6,000 万円、

分担金及び負担金が約 2 億 7,000 万円

それぞれ増額となった一方、

県支出金が約 6 億 6,000 万円、

繰越金が 約 3 億 2,000 万円

それぞれ減額となりました。

なお、市債残高は、約 2 5 0 億円で、前年度と比較いたしますと約 8 億円の減となりました。

また、定額運用基金を除いた基金残高は、約 7 6 億円となり、前年度と比較いたしますと約 8 , 0 0 0 万円の減となりました。

次に、財政指標でございますが、財政の柔軟性を示す経常収支比率につきましては、前年度と比較いたしますと 1 . 4 ポイント改善し、9 4 . 3 パーセントとなりました。

この主な要因は、地方特例交付金や地方交付税の増によるものであります。

なお、健全化判断比率につきましては、
実質赤字比率、
連結実質赤字比率、
実質公債費比率、
将来負担比率
のいずれも健全性は維持されています。

今後も、社会保障関係費や公共施設の
老朽化対策費の増加が見込まれるなど、
厳しい財政運営が続くものと予測されます
ことから、

「行政の効率化に向けた取組」と
「重要課題への対応」を両立していくため、
引き続き行財政改革を着実に実行し、
財政の健全化に努めてまいります。

議案第51号令和6年度小林市国民健康
保険事業特別会計歳入歳出決算の認定につき

ましては、
歳入総額 6 1 億 5 , 6 6 0 万 3 , 4 1 6 円、
歳出総額 6 0 億 6 , 0 9 8 万 4 , 1 9 8 円
となり、
歳入歳出差引額は
9 , 5 6 1 万 9 , 2 1 8 円となりました。

なお、歳出の大部分を占める保険給付費につきましては、前年度と比較いたしますと、
5 , 9 3 1 万 1 4 8 円、
率にして 1 . 4 パーセントの増となりました。

今後も、特定健康診査の受診率の向上や、
保険税収納率の向上に向けた取り組みを
強化し、
国民健康保険事業の健全かつ安定的な運営に
努めてまいります。

議案第 5 4 号令和 6 年度小林市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定につきましては、

歳入総額 6 0 億 4 , 7 5 1 万 5 , 4 4 3 円、
歳出総額 6 0 億 2 , 7 7 5 万 6 , 8 8 6 円
となり、

歳入歳出差引額は

1 , 9 7 5 万 8 , 5 5 7 円となりました。

令和 6 年度は、
高齢者保健福祉計画・
第 9 期介護保険事業計画・
認知症施策推進計画に基づき、制度の円滑な
運営に努めました。

また、地域包括支援センターを中心に
関係機関が連携し、
地域の高齢者が自立した日常生活を営む

ことができるよう包括的な支援を行いました。

議案第 5 6 号令和 6 年度小林市水道事業
会計決算の認定につきましては、
収益的収入 9 億 4, 1 5 6 万 8, 7 8 6 円、
収益的支出 8 億 8, 7 8 0 万 6, 6 9 5 円
となり、
当年度 純利益は
5, 3 7 6 万 2, 0 9 1 円、
当年度未処理欠損金は
2 億 4, 6 5 6 万 4, 2 9 9 円となりました。

議案第 5 7 号令和 6 年度小林市下水道事業
会計決算の認定につきましては、
収益的収入 5 億 3, 6 1 6 万 4, 6 5 2 円、
収益的支出 5 億 1, 4 5 3 万 6, 8 6 6 円
となり、
当年度 純利益は

2, 162万7, 786円、
当年度未処分利益剰余金は
2, 717万7, 891円となりました。

議案第58号令和6年度小林市農業集落
排水事業会計決算の認定につきましては、
収益的収入2億2, 233万2, 698円、
収益的支出2億1, 246万8, 834円
となり、
当年度純利益及び
当年度未処分利益剰余金は
986万3, 864円となりました。

議案第59号令和6年度小林市病院事業
会計決算の認定につきましては、
収益的収入26億9, 419万8, 859円、
収益的支出28億6, 154万3, 954円
となり、

当年度純損失は

1 億 6 , 7 3 4 万 5 , 0 9 5 円、

当年度未処理欠損金は

1 4 億 4 , 3 7 8 万 2 , 8 6 5 円

となりました。

議案第 6 0 号工事請負契約の変更につき
ましては、

令和 6 年度（繰越）河川等整備事業

三松川河川改良工事（1・4 工区）の

請負契約の変更について、

議会の議決を求めるものであります。

議案第 6 1 号令和 7 年度小林市一般会計
補正予算第 4 号につきましては、

歳入歳出それぞれ

5 億 6 , 8 5 0 万 9 , 0 0 0 円を増額し、

予算規模は

3 4 1 億 3 , 9 8 4 万 8 , 0 0 0 円 とな
ります。

まず、歳入につきましては、国県支出金、繰越金等を追加計上いたしました。

次に、歳出の主なものをご説明申し上げます。

総務費につきましては、
定額減税による不足額給付対象者の増加が
見込まれることから、
給付金の増額等を計上するものであります。

民生費につきましては、
基幹系システムの改修費用として、
国民健康保険事業特別会計及び後期高齢者
医療事業特別会計への繰出金を計上するもの

であります。

衛生費につきましては、
病院事業会計において物価の高騰等により
費用が増大していることから、
繰出金の増額を計上するものであります。

農林水産業費につきましては、
宮崎県酪農公社が解散することを受けて、
預託農家等が整備・改修する牛舎等の費用に
対する補助金等を計上するものであります。

商工費につきましては、
台湾の経済団体の誘致に向けて、
県内市町及び企業・大学等で設立される
「TEAM MIYAZAKI」に参加する
ための費用等を計上するものであります。

土木費につきましては、
木場 1 号線の側溝改修に伴う流末調査に
要する費用等を計上するものであります。

教育費につきましては、
学校給食の物価高騰対策として、
米価の上昇に対する補助金の増額等を計上
するものであります。

災害復旧費につきましては、
陥没した出の山遊歩道の復旧に要する費用を
計上するものであります。

なお、職員人件費につきましては、
それぞれの費目で所要額の調整を行うもので
あります。

また、市道補修事業費ほか 5 事業に

つきましては、
事業の完了が翌年度にわたることが見込まれることから、繰越明許費として予算計上する
ものであります。

議案第 6 2 号令和 7 年度小林市国民健康
保険事業特別会計補正予算第 2 号につきまし
ては、
基幹系システムの改修に要する費用等を
計上し、
歳入歳出それぞれ 9 0 0 万円を増額するもの
であります。

議案第 6 3 号令和 7 年度小林市介護保険
事業特別会計補正予算第 1 号につきましては、
令和 6 年度事業の精算に伴う国県支出金の
返還金等を計上し、
歳入歳出それぞれ 2 , 6 2 5 万 4 , 0 0 0 円

を増額するものであります。

議案第 6 4 号令和 7 年度小林市後期高齢者医療事業特別会計補正予算第 1 号につきましては、

保険料負担金の不足額が見込まれることに伴う

後期高齢者医療広域連合に対する負担金の増額等を計上し、

歳入歳出それぞれ 2, 5 5 8 万 7, 0 0 0 円を増額するものであります。

議案第 6 5 号令和 7 年度小林市下水道事業会計補正予算第 1 号につきましては、

収益的支出において、

人事異動による人件費の支出の増加に伴う

営業費用 5 7 万 6, 0 0 0 円を増額するものであります。

議案第 66 号令和 7 年度小林市病院事業
会計補正予算第 2 号につきましては、
収益的収入においては、
一般会計負担金の増に伴い、
医業収益 2,410 万 7,000 円を、
医業外収益 3 億 7,589 万 3,000 円を
それぞれ増額し、
収益的支出においては、
手数料の減等に伴う
医業費用 187 万円を減額するものであり
ます。

資本的支出においては、
固定資産購入費等の増に伴う
建設改良費 564 万 1,000 円を増額する
ものであります。

議案第 6 7 号小林市議会議員及び小林市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正につきましては、
選挙運動用ビラ及びポスターの作成の公営に要する経費の限度額を引き上げるため、
所要の改正を行うものであります。

議案第 6 8 号職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正につきましては、
本市職員について、子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現する措置を講ずるため、
所要の改正を行うものであります。

議案第 6 9 号職員の育児休業等に関する条例の一部改正につきましては、
地方公務員の部分休業制度が拡充されることに伴い、
所要の改正を行うものであります。

諮問第２号人権擁護委員の候補者の推薦につきましては、

牟田 昭三氏を人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦することについて、議会の意見を求めるものであります。

なお、議案第６０号につきましては、三松川河川改良工事（１・４工区）を早急に進める必要があることから、本日、一審議での議決につきましてお願いを申し上げます。

また、新しい地方経済・生活環境創生交付金の内示に伴う必要な予算措置につきましては、内容が調い次第、今期定例会中に追加提案をさせていただくこととしております。

以上、よろしくご審議のほどお願いを
いたします。